

グローバルで活躍する為に 出来ること

中 澤 剛

Go NAKAZAWA

情報メディア学科 3年

1. はじめに

理工学部の「グローバル人材育成プログラム」にて、2015年8月13日から2015年8月31日までの間、アメリカ合衆国カリフォルニア州のシリコンバレーからサンフランシスコ周辺にて研修を行った。13日はサンフランシスコ国際空港からサンフランシスコのダウンタウン地区の観光に出かけ、14日はシリコンバレーにある有名企業や博物館などを見学しに行き、15日は現地で働く日本人による講演会を聴いた後にホームステイ先に向かい、17日から19日までOaklandにあるInternational Contact, Inc. で実務研修を行い、20日から28日までSan MateoにあるHair Fitness で実務研修を行い、31日に日本に帰国した。以下にそれぞれの詳細を記載す。

2. シリコンバレー企業見学

カリフォルニア州北部のサンフランシスコ・ベイエリアの南部に位置している周辺地域はソフトウェアやインターネット関連のハイテク企業が多数生まれ、IT企業の一大拠点となっている。私はIntel, Avago Technology, Google, Computer History Museum, Plug & Play, Facebook, NASA Museum など多数の企業や博物館を見学した。その内でも、Intel, Avago Technology, Plug & Play では従業員の方から、シリコンバレーで働くことになったエピソードや、エンジニアとして働くことについての体験談を聞かせていただいた。



図1 シリコンバレーにある Google 本社

3. International Contact, Inc. での実務研修

International Contact, Inc. は、様々なビジネスと手がける会社ではあるが、主に翻訳者に仕事を割り当てる会社である。ここでの主な私の仕事は以下のようなものであった。

- ・ International Contact, Inc. の企業理念や Procedure を熟読し、仕事の仕方を覚える。

- ・ Production Line という毎日の仕事の進行表を作成する。

- ・ 今まで使われていた古いデータベースの中にある翻訳者の情報（名簿、国籍、翻訳する言語、翻訳レベル、翻訳の種類、翻訳レート、連絡先、など）を新しいアプリケーション“Plunet”に書き換える仕事。

- ・ 私宛に送信、または転送されてきたメールを“Q & A”という方式に則り、処理する仕事。

例えば、私宛に届いたメールの内容をよく読み、内容が新しいプロジェクトであった場合、このプロジェクトは誰に担当されるべきなのか、または既に終わったプロジェクトなのか、もしくは私が処理してよいプロジェクトなのか、メールの内容に応じてそれぞれのメールを共有テキストに整理してリストアップする仕事。

- ・ “Roger”という、報告書の役割を果たすテキストの作成。私が行ったプロジェクトの要約や質問を書き、メールとしてボスに送信する。

例えば私の行ったプロジェクトに10%以上の不明瞭なプロセスが存在していた場合、それを Roger として必ず記載して質問をしなければならない。そうしてボスやスーパーバイザーから回答をもらい、私が行うプロジェクトの質を完璧に近づけて、仕事内容を逐一報告することで齟齬を発生させないようにする。

- ・ソフトウェア管理：社内にあるコンピューターに内蔵されているソフトウェアやアプリケーションの状態を調べてそのデータベースを作成し、スクリーンショットを撮るなどもして内容を明解にしたのうち、SE にメールとしてそのデータベースを送信する。

4. Hair Fitness での実務研修

この会社はヘアサロン兼ヘアケア商品やコスメ商品の店頭販売店である。ここでの仕事内容は、主に以下の業務であった。

- ・商品管理
- ・店頭に並んでいるヘアケア商品の効能、成分の学習
- ・顧客の年齢、髪質、希望に沿った商品を提供する。
- ・ヘアサロンとしての業務の学習

この会社でも前研修先と同様に英語環境での実務研修だったので、思うように作業が捗らなかった。しかしその不利な環境下で自分の出来ることを自分

で見出す経験が、この実務研修での最大の収穫となった。他にも当研修先では、仕事をする上で従業員が最高のパフォーマンスを発揮する秘訣を学んだ。それは従業者の人々に対して常に感謝や敬意を払い、常に楽しい職場の雰囲気を作ることだ。そのため従業者の方はいつも最高のパフォーマンスを発揮していたように見え、なによりもポジティブな雰囲気であふれているように感じた。そのようにして私は初めてこの会社が顧客に何を、どのような思いで提供しているのかを真に理解することが出来たし、この職場で働いたことを幸せに感じた。

つまり仕事を行う上で最もベストを尽くせて大事なことは、自分がこの状況下で何が出来るかを自分で見出し、人々がポジティブな思いであることを学んだ。

5. おわりに

シリコンバレー周辺での研修で有意義な経験を沢山し、多くの事を学んだ。特にシリコンバレー周辺の企業で働く人々は、職場の状況を常に自分で考えて認識をし、自分から新たな問題を発見し、解決策を見つけ出している事が見受けられた。そしてグローバルで働く上で大切なことは、周りの環境や状況を受け入れた上で、自分がどのようにして最高のパフォーマンスを発揮出来るかを考えて、実践することだと思った。